

アセアン5、インドが高成長の代名詞に インドの経済規模は2027年に日本を抜き世界第3位に

2022年10月14日

お伝えしたいポイント

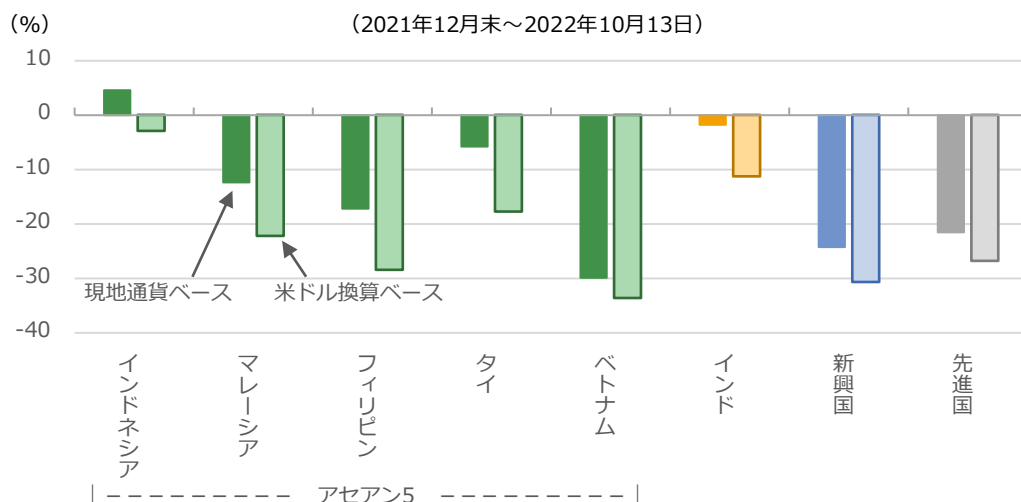
- ・ アセアン5株、インド株は昨年末比で相対的な堅調さを維持
* アセアン5：インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナムの5カ国
- ・ 今後、アセアン5、インドは中国を上回る高成長が続く見通し
- ・ インドの経済規模は2027年に日本を抜き世界第3位に

アセアン5株、インド株は昨年末比で相対的な堅調さを維持

2022年のアセアン5株、及びインド株は、各国株と同様におおむね下落していますが、下落率は相対的に小幅に留まっています。特に、インドネシア株やインド株は底堅く推移しています。各国とも通貨が対米ドルで安くなっているため、株価指数の騰落率は現地通貨ベースよりも米ドル換算ベースの方が悪くなっていますが、相対的な優位性は米ドル換算ベースでも維持されています。

アセアン5株、インド株が相対的に堅調な理由としては、各国に比べて、①構造改革の進展などで経済成長率が高いこと、②インフレ圧力がさほど強くないこと、③資源国を含むため商品市況高のマイナス面が一部相殺されること、④地政学リスクの高まりが限定的であること、などが挙げられます。なお、ベトナムに関しては、大手企業の不祥事や直近の大幅な利上げなどで下落率が大きくなっています。

株価指数騰落率（昨年末比）



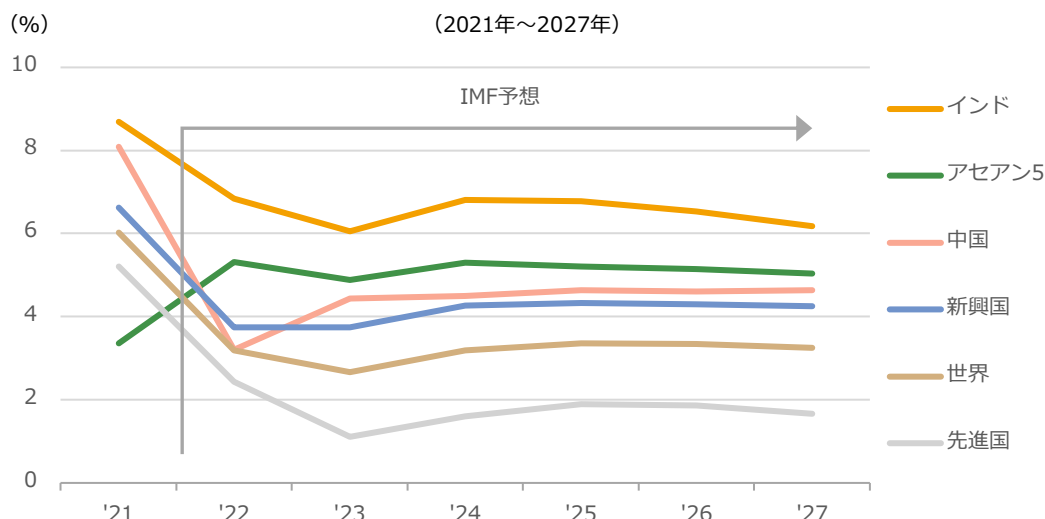
※インドネシア：ジャカルタ総合指数、マレーシア：FTSEブルサ・マレーシアKLCI指数、フィリピン：総合指数、タイ：SET指数、ベトナム：VN指数、インド：S&P BSEセンセックス指数、新興国：MSCI新興国指数、先進国：MSCI先進国指数、いずれも配当無し

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

高成長続くアセアン5とインド、インドの経済規模は世界第3位へ

先日発表されたIMFの世界経済見通しでは、世界的な傾向と同じく、アセアン5とインドの成長率も4月に比べ下方修正されましたが、世界経済が不調な中でもアセアン5とインドが高成長を維持していることの方が、むしろ目立ちました。高成長が続くことで、2027年の名目GDPはインドが日本を抜いて世界第3位に、アセアン5は英国を抜いて同第6位に浮上する見通しです。

■ 実質GDP成長率



※2022年以降はIMF予想

(出所) IMF「世界経済見通し2022年10月」より大和アセット作成

■ 名目GDP規模ランキング

(2020年～2027年)

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
			予想	予想	予想	予想	予想	予想
1	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国	米国
2	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国	中国
3	日本	日本	日本	日本	日本	日本	日本	インド
4	ドイツ	ドイツ	ドイツ	ドイツ	ドイツ	インド	インド	日本
5	英国	英国	インド	インド	インド	ドイツ	ドイツ	ドイツ
6	インド	インド	英国	英国	英国	英国	英国	アセアン5
7	フランス	フランス	アセアン5	アセアン5	アセアン5	アセアン5	アセアン5	英国
8	アセアン5	アセアン5	フランス	フランス	フランス	フランス	フランス	フランス
9	イタリア	イタリア	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ
10	カナダ	カナダ	ロシア	ロシア	ブラジル	ブラジル	ブラジル	ブラジル

※名目GDPは米ドル換算ベース、2022年以降はIMF予想

(出所) IMF「世界経済見通し2022年10月」より大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。